

第14回
中小企業景況調査報告書

(平成19年7月～9月期)

平成19年10月調査

平成19年11月17日

鎌倉商工会議所

中心市街地サポートマネージャー：鈴木基之

第 14 回 中小企業景況調査結果

1. 調査目的 この調査は、鎌倉市内の中小企業の景況を調査、その動向を分析して鎌倉市内の事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 鎌倉市内の中小企業特に小規模企業（製造業・建設業・最寄品小売業・買回品小売業・飲食業・サービス業）の中から 150 企業を抽出する。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	12	13	20	25	27	26	123
回答率	80.0%	86.7%	87.0%	83.3%	73.0%	86.7%	82.0%

3. 調査方法 郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)

4. 調査項目

- (1) DI の状況について

自社の状況 売上額 資金繰り 採算 従業員数

- (2) 設備投資について

- (3) 経営上の問題点について

5. 調査期間 平成 19 年 10 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日（10 月 1 日現在で記入）
平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日
調査時点は四半期毎に実施。（7 月・10 月・1 月・4 月）

6. 調査データについて

- (1) DI 指数：Diffusion Index(デフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。

各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

- (2) データ「本年と前年の数値を対比」

< 計算例 >

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%
の場合。 $DI = 50\% - 30\% = 20\%$

7. 経営状況 DI 推移

	経営状況	良い	普通	悪い	DI
第 1 回	平成 16 年 7 月調査	11(14.9%)	30(40.5%)	33(44.6%)	29.7
第 2 回	平成 16 年 10 月調査	18(20.9%)	35(40.7%)	33(38.4%)	17.5
第 3 回	平成 17 年 1 月調査	14(15.6%)	43(47.8%)	33(36.7%)	21.1
第 4 回	平成 17 年 4 月調査	16(18.8%)	43(50.6%)	26(30.6%)	11.8
第 5 回	平成 17 年 7 月調査	18(21.2%)	45(52.9%)	22(25.9%)	4.7
第 6 回	平成 17 年 10 月調査	30(23.0%)	61(47.3%)	38(29.5%)	6.2
第 7 回	平成 18 年 1 月調査	34(25.8%)	66(50.0%)	32(24.2%)	1.6
第 8 回	平成 18 年 4 月調査	43(33.6%)	55(43.0%)	30(23.4%)	10.2
第 9 回	平成 18 年 7 月調査	36(29.3%)	54(43.9%)	33(26.8%)	2.5
第 10 回	平成 18 年 10 月調査	38(29.2%)	61(46.9%)	31(23.8%)	5.4
第 11 回	平成 19 年 1 月調査	37(27.6%)	64(47.8%)	33(24.6%)	3.0
第 12 回	平成 19 年 4 月調査	43(31.2%)	66(47.8%)	29(21.0%)	10.2
第 13 回	平成 19 年 7 月調査	39(31.5%)	61(49.2%)	24(19.4%)	12.1
第 14 回	平成 19 年 10 月調査	33(26.8%)	62(50.4%)	28(22.8%)	4.1
	3 ヶ月後の見通し	34(27.6%)	61(49.6%)	28(22.8%)	4.9

調査結果の概要

1 総合 「景況感は2期連続悪化主要指標がすべてマイナス採算割れを懸念。」

業況 DI は2期連続して悪化プラス7.1 となり、先行きもプラス6.2 と採算割れ懸念か。

設備投資は低調（OA 機器（13.0%）と建物など（10.6%）、車両運搬具と車両運搬具が11社(8.9)、

今回（平成19年10月調査）は、業況 DI が前回（平成19年7月調査）に比べ3.4ポイント悪化しプラス7.1と2期連続悪化。売上額 DI はマイナス2.4と悪化。採算 DI はマイナス11.4を示した。資金繰り DI はマイナス12.4、主要3指標がすべてマイナスを示し採算割れをなど懸念。

3ヶ月後の業況見込み DI がプラス6.2と今期に比べて0.9ポイント悪化の見通しを示している。主要4指標である来期の売上見込み DI もプラス1.6と今期に比べ21.3ポイント改善し、来期採算見込み DI もマイナス8.8と今期に比べ2.6ポイントの改善。資金繰り DI もマイナス3.8と8.6ポイント悪化している。売上額・採算・資金繰りは改善し景況感は横ばいを期待するが、採算割れなどを懸念。

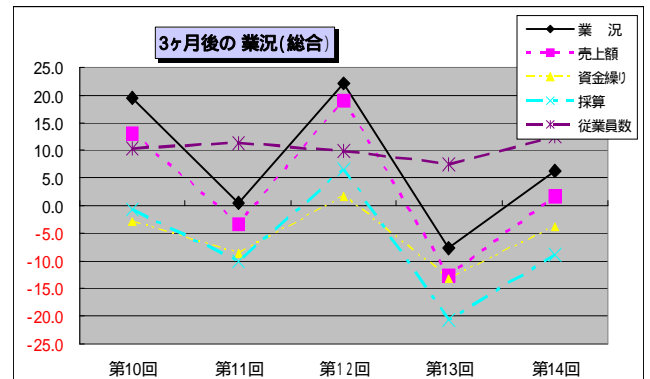
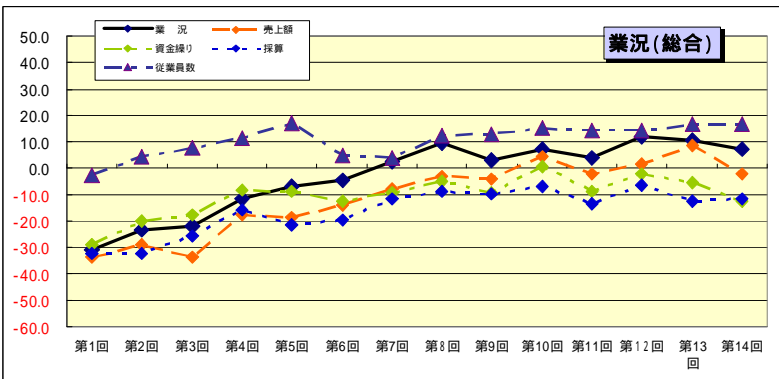
- ・ 雇用状況：人手の不足感は製造業などで上昇をうけて改善傾向が弱まっている。従業員数 DI は、16.6ポイント改善しプラス16.7と労働力の不足感が弱まっている。来期に向けては売上高の改善を受け少しだけ弱まる見通し。

業種別では、製造業プラス33.3、建設業プラス23.1、サービス業19.2で人手不足感が強い。

- ・ 設備投資の動向（今期は、OA 機器、機械器具、車両運搬具などに投資が見られた。）

設備投資の動向は、OA 機器を導入したのはサービス業3社、最寄品小売業2社、建設業と飲食業各2社と、前回の11社から7社に減少。・機械設備は、飲食業4社、最寄品小売業とサービス業各1社の合計7社、・車両運搬具は、建設業4社、飲食業とサービス業で各2社など合計7社(7.3%から5.7%と1.6%増加)となっている。建物等は飲食業4社、製造業と建設業各1社の合計3社(249%から4.9%の企業)がそれぞれ設備投資を実施した。

来期はOA 機器が3社から9社(飲食業とサービス業で3社、など)・機械設備3社(飲食業で3社)・車両運搬具4社(飲食業1社、最寄り品小売業3社)・建物等は7社(飲食業で3社、製造業と建設業で各1社)が投資予定をしている。OA 機器は今期と来期を合せ13.0%(16社)、機械設備(11社)、建物等13、車両運搬具11社の企業が投資計画をしている。



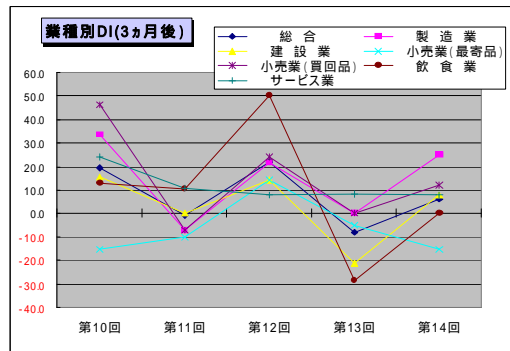
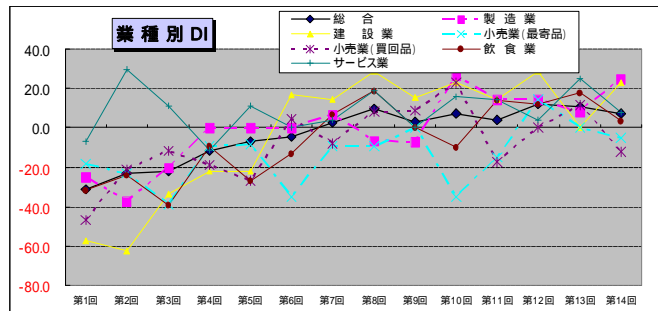
業況(総合)	対前年比														3ヵ月後				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
業況	-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6	2.4	9.6	2.8	7.4	4.1	12.1	10.5	7.1	19.5	0.5	22.0	-7.8	6.2
売上額	-33.9	-29.2	-33.6	-17.5	-18.5	-13.7	-7.9	-3.2	-4.0	4.6	-2.2	1.7	8.5	-2.4	13.1	-3.3	19.0	-12.8	1.6
資金繰り	-28.9	-20.0	-17.5	-8.5	-8.9	-12.5	-9.2	-5.0	-9.0	0.6	-8.8	-2.1	-5.7	-12.4	-2.8	-8.6	1.7	-13.2	-3.9
採算	-32.3	-32.1	-25.8	-16.0	-21.6	-19.7	-11.5	-8.8	-9.6	-6.8	-13.6	-6.2	-12.5	-11.4	-0.7	-10.1	6.5	-20.6	-8.8
従業員数	-2.7	4.3	7.8	11.4	16.9	5.1	4.1	12.5	12.7	15.3	14.4	14.4	16.7	16.7	10.3	11.2	9.8	7.5	12.6
設備投資の動向																			
OA機器	9	7	7	7	8	6	12	10	7	15	11	2	13	7	9	11	5	3	9
機械設備	2	3	3	2	7	11	11	8	5	9	10	3	10	8	9	11	2	5	3
車両運搬具	4	4	8	5	4	8	6	2	6	12	4	5	9	7	6	4	5	3	4
建物	1	2	0	1	2	4	4	4	5	6	9	4	3	6	8	2	4	5	7
付帯施設	4	2	4	3	4														
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		4	2	1	0	0	0	1	1

2 業種別 (製造業・建設業は好調。最寄品小売業と買回品小売業はマイナスに転落。飲食業・

サービス業はかろうじてプラス確保。設備投資は食業やサービス業に弱い動きが見られた。)

製造業は悪化、建設業・最寄品・小売業はかろうじてプラスにとどまる。買回品小売業は2期連続改善した、先行き採算割れ等を懸念。飲食業は大幅に改善したが先行き不安材料要因多くマイナスに転落か。サービス業は3期ぶりに改善、先行き不安要因多くマイナスを懸念。全業種2期連続プラスを示すが先行きに懸念材料多く、低迷しマイナス幅を拡大してゆく見通しを示す。設備投資に一部明るい兆しをす。

業種別DIは8期連続してプラスを維持しているが、2期連続の悪化を示し先行きも懸念材料が多い。業種別では、改善したのは製造業と建設業の2業種、悪化したのは4業種でマイナスに転じたのは最寄品小売業と買回品小売業の2業種。製造業と建設業は、大幅に改善したが原油高等による原材料の高騰により先行き採算割れを懸念している。かろうじてプラスを維持したのは飲食業とサービス業だが先行きの悪化懸念材料が多い。2期連続改善しプラス11.5。飲食業は4期連続してプラスを維持し今期もプラス3.7。サービス業は9期連続プラスを維持する。3ヵ月後の見通しは、売上額・資金繰り採算ともに改善を見込むが、業況DIが横這いの見通し。製造業はプラス25.0と引続き好調。建設業はプラス7.7%と改正建築基準法施行の影響を懸念し悪化。最寄品小売業はマイナス15.0と悪化見通し。

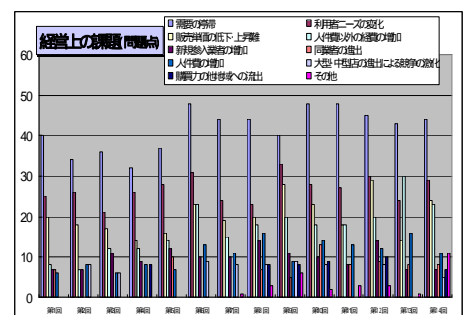


業種別	現況														3ヵ月後				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
総合	-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6	2.4	9.6	2.8	7.4	4.1	12.1	10.5	7.1	19.5	-0.5	22.0	-7.8	6.2
製造業	-25.0	-37.5	-20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	-6.7	-7.1	26.7	14.3	14.3	8.3	25.0	33.3	-7.1	21.4	0.0	25.0
建設業	-57.1	-62.5	-33.3	-22.2	-22.2	16.7	14.3	28.6	15.4	23.1	14.3	28.6	0.0	23.1	15.4	0.0	14.3	-21.4	7.7
小売業(最寄品)	-18.2	-23.1	-38.5	-9.1	-8.3	-35.0	-9.5	-9.5	0.0	-35.0	-15.0	14.3	0.0	-5.0	-15.0	-10.0	14.3	-5.0	-15.0
小売業(買回品)	-46.7	-21.1	-11.8	-18.8	-26.7	4.2	-7.7	8.3	8.7	23.1	-17.2	0.0	11.5	-12.0	46.2	-6.9	24.1	0.0	12.0
飲食業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	-26.7	-13.3	6.7	18.5	0.0	-9.7	13.8	11.8	17.9	3.7	12.9	10.3	50.0	-28.6	0.0
サービス業	-7.1	29.4	11.1	-11.1	11.1	0.0	3.8	18.5	0.0	16.0	14.3	3.8	25.0	7.7	24.0	10.7	7.7	8.3	7.7

3 経営上の問題点

企業が抱える経営上の問題点は「**需要の停滞**」と「**販売単価の低下・上昇難**」「**利用者ニーズの変化**」「**需要の停滞**」が40.7%(50社)、「**販売単価の低下・上昇難**」25.2%(31社)「**利用者ニーズの変化**」23.6%(29社)「**人件費以外の経費の増加**」が18.7%(23社)「**人件費の増加**」8.9%(11社)、「**同業者進出**」「**原材料の高騰**」が6.5%(8社)の企業が回答している。

総合	第0回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
74社	86社	90社	85社	85社	123社	132社	128社	123社	130社	134社	138社	124社	123社		
需要の停滞	40	34	36	32	37	48	44	44	40	48	48	45	43	44	
利用者ニーズの変化	23	26	21	26	28	31	24	23	33	28	27	30	24	29	
販売単価の低下・上昇難	20	18	17	14	16	23	19	20	28	23	18	29	14	24	
人件費以外の経費の増加	8	7	12	12	14	23	15	18	20	18	18	21	30	23	
新参入業者の増加	7	7	11	9	12	10	10	14	11	10	8	14	7	7	
同業者の進出	7				10			7	5	13	8	9	8	8	
人件費の増加	6	8	6	8	7	13	11	16	9	14	13	12	16	11	
大企業・中堅企業の進出による競争の激化		8	6			9	8	8	9	8		8		5	
購買力の回復への流出				8				8	8	9		10		7	
その他							1	3	6	2	3	3	1	11	



業種別の特徴

1 製造業(売上高・採算・資金繰りの改善を受けて景況感は好転。先行きは不透明。)

景況感は16.7ポイント改善しプラス25.0と景気回復の牽引しているが、先行きは原油高等による原材料高騰を懸念し不透明な見通し。

経営上の課題は、「需要の停滞」や「人件費以外の経費の増加」など。

設備投資は冷え込んだ状態が続いている。

業況判断DIは、売上額・採算・資金繰りとともに大幅に改善(今期売上額DIは4期振りに改善)しプラス16.7、採算DIはプラス8.3。資金繰りDIは、0.0とすべてのDIがプラスになり、業況DIはプラス8.3から16.7ポイント改善し、プラス25.0となりました。先行きは売上額、資金繰りとともにプラス8.3で景況感は横這い見通し。業種別順位は同率4位から1位に。

3ヵ月後の業況見込みDIもプラス25.0と横這いの見通しです。

売上額DIもプラス8.3と8.4ポイント悪化し、資金繰りDIもプラス8.3、来期採算見込みDIも8.3ポイント悪化の見通しです。

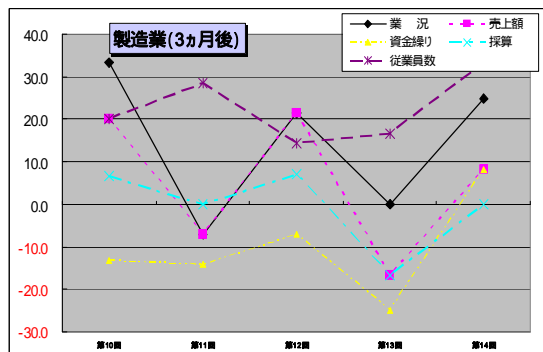
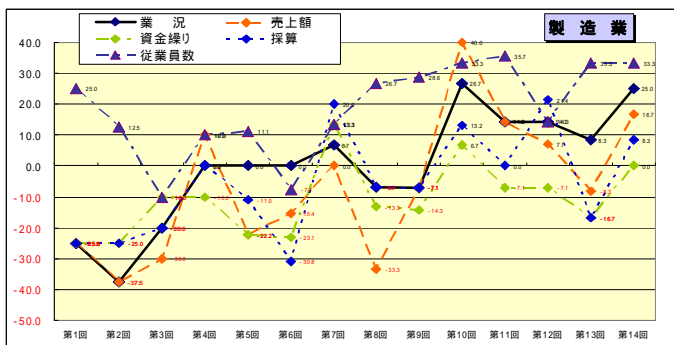
雇用状況を示す従業員数DIは、プラス33.3と横這いで従業員の人手不足感が進んでいる。来期もプラス33.3と前期並みとなるようです。調査6業種中同率1位から1位となりました。

・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、建物(付帯設備)8.3%(1社) 車両運搬具 8.3%(1社)と設備投資があり、来期にはOA機器 8.3%(1社)、建物など 8.3%(1社)の企業が設備投資の計画あるのみで冷え込んだ状態が長引いている。

・ 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」33.3%(4社) つづいて「人件費以外の経費の増加」25.0%(3社)、「取引条件の悪化」と「原材料の高騰」16.7%(各2社)、「製品(加工)単価の停下・上昇難」8.3%(1社)など。前期に比べ「需要の停滞」が5社から4社に減少、「人件費以外の経費の増加」も5社から3社に減少した。



製造業		対前年比														3ヵ月後					
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	
経営状況	業況	-25.0	-37.5	-20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	-6.7	-7.1	26.7	14.3	14.3	8.3	25.0	33.3	-7.1	21.4	0.0	25.0	
	売上額	-25.0	-37.5	-30.0	10.0	-22.2	-15.4	0.0	-33.3	-7.1	40.0	14.3	7.1	-8.3	16.7	20.0	-7.1	21.4	-16.7	8.3	
	資金繰り	-25.0	-25.0	-10.0	-10.0	-22.2	-23.1	13.3	-13.3	-14.3	6.7	-7.1	-7.1	-16.7	0.0	-13.3	-14.3	-7.1	-25.0	8.3	
	採算	-25.0	-25.0	-20.0	0.0	-11.0	-30.8	20.0	-6.7	-7.1	13.2	0.0	21.4	-16.7	8.3	6.7	0.0	7.1	-16.7	0.0	
	従業員数	25.0	12.5	-10.0	10.0	11.1	-7.7	13.3	26.7	28.6	33.3	35.7	14.3	33.3	33.3	20.0	28.6	14.3	16.7	33.3	
設備投資の動向	OA機器	1	1	1	1			2	2	2	3	2		2		1				1	
	機械設備	1			-1		1														
	車両運搬具					1	3		1	1		2	1	1		2	3	1			
	建物				1	1			1	1					1						1
	付帯施設 その他																				

2 建設業（景況感は大幅に改善、先行きは悪化見通し。経営課題は経費の増加。）

景況感はプラス23.1と大幅に改善しました。先行き材料費の値上げや、改正建築基準法施行の影響により悪化の見通し。

経営上の課題は、「人件費以外の経費の増加」（7社）「需要の停滞」（民間需要の停滞が4社と官公需要の停滞が2社）「請負単価の低下・上昇難」（6社）など。

設備投資は車両運搬具や建物などに計4社、OA機器に1社と急激冷え込みました。

業況判断DIは、売上額DIが2期連続して悪化しマイナス7.7。採算DIは4期振りに上昇に転じ0.0に改善した。資金繰りDIも7.7ポイント改善し、景況感はプラス23.1と大幅に改善しました。業種別順位は6業種中5位から製造業に次いで2位となりました。

3ヶ月後の業況見込みDIは、先行きの不透明感もあり、今期に比べ15.4ポイント悪化しプラス7.7と大幅な悪化見通しです。見通しの内容としては、来期の売上額見込みDIがマイナス7.7と今期に比べ横這い、来期の採算見込みDIも材料費の値上等を危惧し横這い見通し。来期資金繰りDIはプラス15.4となっている。

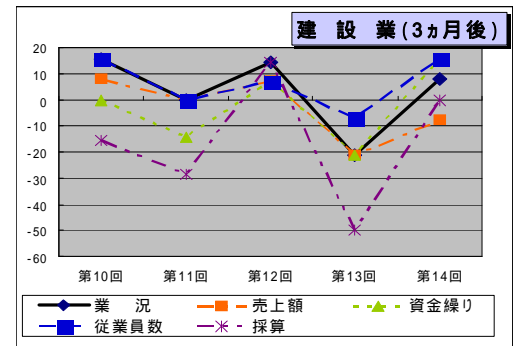
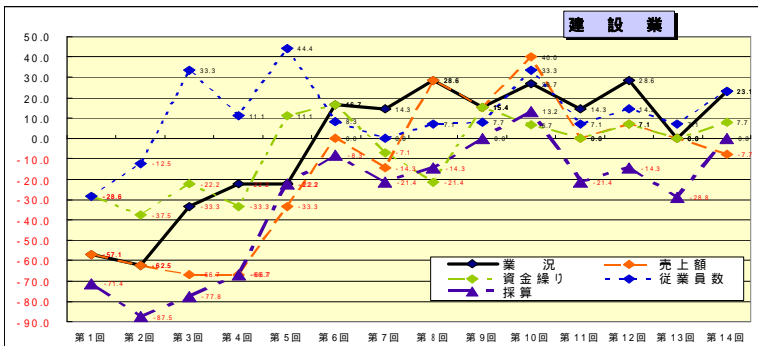
雇用状況を示す従業員数DIがプラス23.1と人手不足の状況が進む。来期に向かっては受注減にとともに労働力の不足感が少し緩和する見込みです。調査6業種同率4位から2位になりました。

・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、車両運搬具15.4%(2社)とOA機器と建物等7.7%(各1社)の4件の投資が実施された(前期は8件)。来期についても、建物等に7.7%(1社)の企業で投資計画があるのみで極めて低調に転じました(投資は11件から5件に半減しました。)

・ 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位「人件費以外の経費の増加」が53.8%(7社)。第2位は「請負単価の低下・上昇難」57.1%から47.2%に9.9%減少(6社)。ついで第3位は「需要の停滞」(民間需要の停滞)を35.7%から30.8%(5社から4社に1社減少)「官公需要の停滞」21.4%(3社から2社に減少)が8社から6社に(57.1%から46.2%に10.9%減少)などと回答している。前期調査に比べ「人件費以外の経費の増加」が6社から7社に10.9%(1社)増加し、「請負単価の低下・上昇難」が8社から6社に減少している。「大企業の進出による競争の激化」が1社から2社に増加している。



建設業	対前年比														3ヵ月後				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
業況	-57.1	-62.5	-33.3	-22.2	-22.2	16.7	14.3	28.6	15.4	26.7	14.3	28.6	0.0	23.1	15.4	0.0	14.3	-21.4	7.7
売上額	-57.1	-62.5	-66.7	-66.7	-33.3	0.0	-14.3	28.6	15.4	40.0	0.0	7.1	0.0	-7.7	7.7	0.0	7.1	-21.4	-7.7
資金繰り	-28.6	-37.5	-22.2	-33.3	11.1	16.7	-7.1	-21.4	15.4	6.7	0.0	7.1	0.0	7.7	0.0	-14.3	7.1	-21.4	15.4
採算	-71.4	-87.5	-77.8	-66.7	-22.2	-8.3	-21.4	-14.3	0.0	13.2	-21.4	-14.3	-28.8	0.0	-15.4	-28.6	14.3	-50.0	0.0
従業員数	-28.6	-12.5	33.3	11.1	44.4	8.3	0.0	7.1	7.7	33.3	7.1	14.3	7.1	23.1	15.4	0.0	7.1	-7.1	15.4
設備投資の動向																			
OA機器	2	1	2	1	1	1	3	2	1	3				2	1				
機械設備			1				2	2						1					
車両運搬具	1	2	3	1		3	2	1	4			1	4	2	1		1	2	
建物					1	1		1	1			1	1	1	1		2	1	1
付帯施設																			
その他												1							

3 小売業(最寄品)(業況DIは2期連続悪化、マイナスに転じ、先行一層の悪化見通し。)

景況感は、2期連続悪化し、マイナス5.0とマイナスに転じ、先行きも一層の悪化見通しを示す。経営上の課題は、「需要の停滞」と「販売単価の低下・上昇難」、設備投資は弱い動きがみられる。

業況判断DIは、売上額DIは0.0と5.0ポイント悪化、採算DIはマイナス20.0と5.0ポイント改善。資金繰りDIはマイナス25.0と10.0ポイント悪化したのに伴い、景況感はマイナス5.0と5.0ポイント悪化しました。業種別順位では6業種中同率5位から単独5位になりました。

3ヵ月後の業況見込みDIは、売上額DIは0.0、採算・資金繰りについては横這い見通しから景況感はマイナス15.0と今期に比べて10.0ポイント悪化見通しをしている。

雇用状況を示す従業員数DIはプラス5.0と横這いでした。来期に向かっては均衡のとれた状況の見込みです。調査6業種中5位から6位となりました。

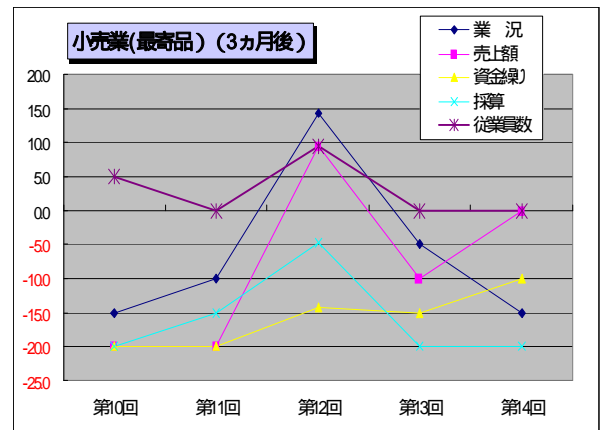
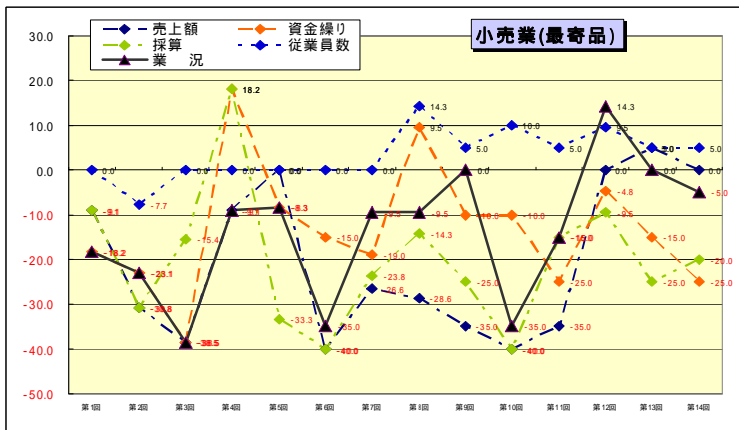
・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、調査20社のうち、OA機器が2社と機械設備、車両運搬具が各1社(5.0%)が投資した。来期の投資については、車両運搬具に3社(15.0%)、建物等に4.8%(2社)、OA機器その他に各1社の企業に投資計画があり、企業の投資活動は弱い動きが見られる。

・ 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位「需要の停滞」が45%(9社)、第2位「販売単価の低下・上昇難」35.0%(7社)、第3位は「人件費以外の経費の増加」20.0%(4社)などが企業で抱えている問題と回答した。

前回調査に比べて、「需要の停滞」が7社から9社に2社増加、「販売単価の低下・上昇難」が2社から7社に25.0%(5社)の増加、「利用者ニーズの変化」が7社から3社へ減少した。



小売業(最寄品)	対前年比														3ヵ月後					
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	
業況	-18.2	-23.1	-38.5	-9.1	-8.3	-35.0	-9.5	-9.5	0.0	-35.0	-15.0	14.3	0.0	-5.0	-15.0	-10.0	14.3	-5.0	-15.0	
売上額	-9.1	-30.8	-38.5	-9.1	0.0	-40.0	-26.6	-28.6	-35.0	-40.0	-35.0	0.0	5.0	0.0	-20.0	-20.0	9.5	-10.0	0.0	
資金繰り	-18.2	-23.1	-38.5	18.2	-8.3	-15.0	-19.0	9.5	-10.0	-10.0	-25.0	-4.8	-15.0	-25.0	-20.0	-20.0	-14.3	-15.0	-10.0	
採算	-9.1	-30.8	-15.4	18.2	-33.3	-40.0	-23.8	-14.3	-25.0	-40.0	-15.0	-9.5	-25.0	-20.0	-20.0	-15.0	-4.8	-20.0	-20.0	
従業員数	0.0	-7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	5.0	10.0	5.0	9.5	5.0	5.0	5.0	0.0	9.5	0.0	0.0	
設備投資の動向	OA機器	2	1			2	2		1		1	1	1	3	2	1	3			1
	機械設備		1	1		1	3	1	2	1	1	1	1	3	1	2	2		1	
	車両運搬具						1	1	1	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	3
	建物	1	1				1	2	1	1	2	2	1			1			1	2
	付帯施設		1	1																1
	その他																			

4 小売業(買回品)(売上額・採算の悪化により業況DIは3期振りにマウスに転じ

先行きの歳末の商戦に期待感を抱く。長く冷え込む設備投資。)

景況感は、売上額と採算・資金繰りの悪化をうけて、マウス12.0とマウスに転じました。先行きは採算面などの回復と歳末商戦に期待して大幅な改善の期待感を抱く。

経営上の課題は「需要の停滞」や「利用者ニーズの変化」・「販売単価の低下・上昇難」。設備投資は冷え込んだ状況が長く続いている。

業況判断DIは、売上額DIは27.5ポイント悪化しマウス16.0となる。採算DIもマウス8.0と11.8ポイント悪化。資金繰りDIは19.7ポイント悪化しマウス12.0となり、景況感はマウス12.0と大幅に悪化しました。業種別順位では3位から6位に転落。

3ヵ月後の業況見込みDIは来期の売上見込みDIはプラス16.0と歳末商戦に期待し今期に比べ32.0ポイントの改善、来期の採算見通しDIもプラス4.0と12.0ポイント改善、資金繰りDIは12ポイントの改善を予想しています。これを受けて景況感はプラス12.0と今期に比べ24.0ポイント改善すると暮れの商戦に期待感を抱いている。

雇用状況を示す従業員数DIは、プラス12.0と従業員は不足気味の状況に転じ、調査6業種中同率6位から4位になりました。来期の状況もプラスの4.0と改善すると予想しています。

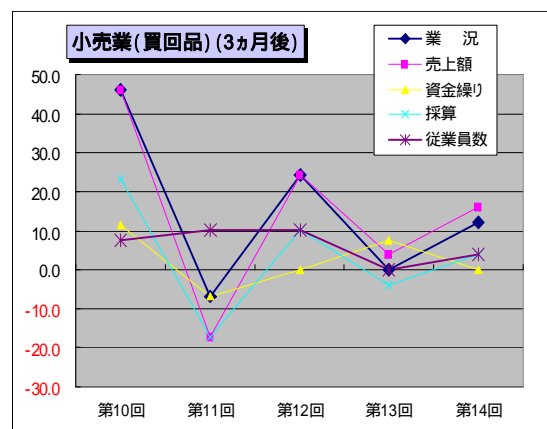
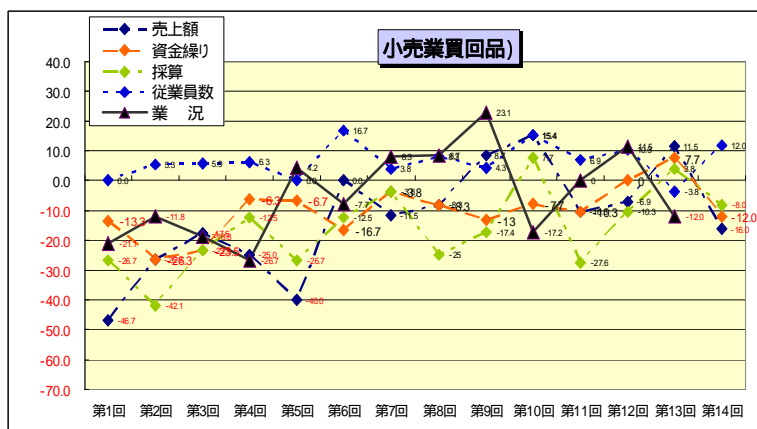
・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、今期企業が投資を実施した企業がありませんでした。来期の投資についても、OA機器に4.0%(1社)で投資計画が見られるのみと冷えこみ低調である。

・ 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位「需要の停滞」52.0%(13社)、第2位「利用者ニーズの変化」44.0%(11社)について第3位が「販売単価の低下・上昇難」24.0%(6社)。について「購買力の他地域への流出」が12.0%(3社)などである。

前回調査に比べて、「需要の停滞」は9社から13社へと4社(17.4%)増加、「販売単価の低下・上昇難」は5社から6社に4.8%増加し、「利用者ニーズの変化」が6社から11社と17.1%(5社)増加した。



小売業(買回品)	対前年比														3ヵ月後					
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	
業況	-46.7	-21.1	-11.8	-18.8	-26.7	4.2	-7.7	8.3	8.7	23.1	-17.2	0	11.5	-12.0	46.2	-6.9	24.1	0.0	12.0	
売上額	-46.7	-26.3	-17.6	-25.0	-40.0	0.0	-11.5	-8.3	8.7	15.4	-10.3	-6.9	11.5	-16.0	46.2	-17.2	24.1	3.8	16.0	
資金繰り	-13.3	-26.3	-23.5	-6.3	-6.7	-16.7	-3.8	-8.3	-13	-7.7	-10.3	0	7.7	-12.0	11.5	-6.9	0.0	7.7	0.0	
採算	-26.7	-42.1	-23.5	-12.5	-26.7	-12.5	-3.8	-25	-17.4	7.7	-27.6	-10.3	3.8	-8.0	23.1	-17.2	10.3	-3.8	4.0	
従業員数	0.0	5.3	5.9	6.3	0.0	16.7	3.8	8.3	4.3	15.4	6.9	10.3	-3.8	12.0	7.7	10.3	10.3	0.0	4.0	
設備投資の動向	OA機器		3	2	1	1	1	3	3	3	4	3			2	2		1	1	
	機械設備					1			1		1									
	車輦運搬具	1	1	3	1	1					2	1	2				1			
	建物		1		1	1						1	1	2		3		1		
	付帯施設	1																		
	その他													2					1	

5 飲食業 (売上額・採算はマイナス・業況 DI はプラス 3.7 と悪化に転じ懸念材料多い。)

景況感は 14.2 ポイント悪化してプラス 3.7。先行きも懸念材料多く 0.0 に転落見通しを示す。経営上の課題は「需要の停滞」や「利用者ニーズの変化」「新規参入業者の増加」、「同業者の進出」など。設備投資は弱い動きが見える。

業況判断 DI は、売上額 DI がマイナス 3.7 と 21.6 ポイントも悪化し、採算 DI はマイナス 25.9。資金繰り DI も、マイナス 29.6 と 15.3 ポイント悪化した。景況感はプラス 3.7 と 14.21 ポイント悪化した。業種別順位では 2 位から 4 位に後退した。

3 カ月後の業況見込み DI は、今期と比べ 3.7 ポイントも悪化の見通し。来期売上額見込み DI もマイナス 11.1 と、大幅に悪化を予想。来期の採算見通し DI もマイナス 37.0 と悪化。資金繰り DI も 7.1 マイナス 29.6 の見通しである。

雇用状況を示す従業員数 DI はプラス 7.4 と労働力の不足感が緩和しているが、来期に向かい繁忙期を迎え不足の状況となるとの見通しを示す。調査 6 業種中、第 2 位から 5 位の結果である。

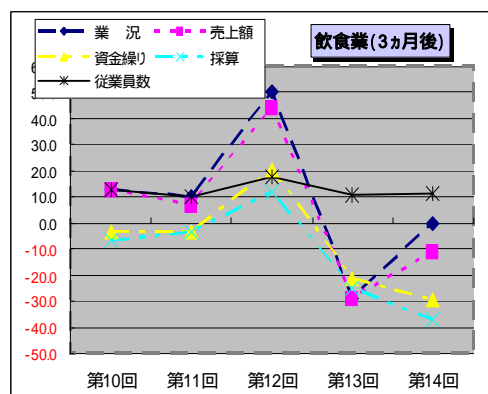
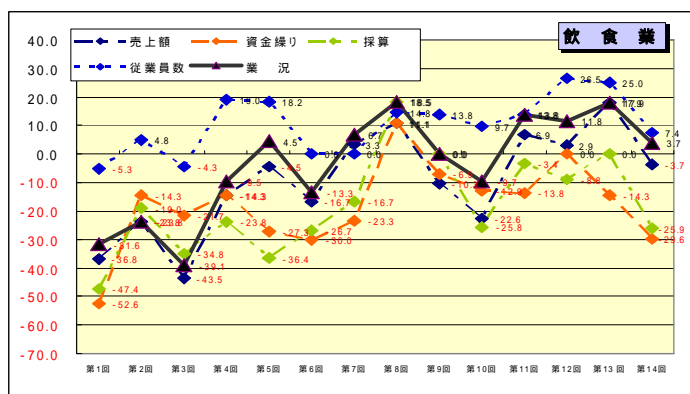
・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、機械設備 22.2%(6 社)、建物等 14.8%(4 社)、OA 機器と車両運搬具 3.7%(各 1 社)の企業で投資が見られた。来期の投資でも、OA 機器、機械設備や建物等が各 3 社の 11.1%、車両運搬具 1 社(3.7%)の投資計画があり 3 期ぶりに弱い動きがみられる。

・ 経営上の問題点

経営上の問題点の、第 1 位「需要の停滞」40.7%(11 社)、第 2 位「利用者ニーズの変化」25.9%(7 社)、次いで第 3 位「新規参入業者の増加」と「同業者の進出」で 18.5%(各 5 社)、第 5 位が「販売単価の低下・上昇難」、「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」が 14.8%(各 4 社)などである。

前回調査に比べて「需要の停滞」が 9 社から 11 社に 17.2%(2 社)増加し、「利用者ニーズの変化」が 5 社から 7 社 8.6%(2 社)増加、「販売単価の低下・上昇難」が 5 社から 4 社に 3.1%(1 社)減少、「利用者ニーズの変化」が 3 社から 7 社に 15.2%(4 社)増加と「人件費以外の経費の増加」が 7 社から 4 社に 5.0%(3 社)減少した。



飲食業	対前年比														3ヵ月後						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回		
業況	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	4.5	-13.3	6.7	18.5	0.0	-9.7	13.8	11.8	17.9	3.7	12.9	10.3	50.0	-28.6	0		
売上額	-36.8	-23.8	-43.5	-14.3	-4.5	-16.7	3.3	11.1	-10.3	-22.6	6.9	2.9	17.9	-3.7	12.9	6.9	44.1	-28.6	-11.1		
資金繰り	-52.6	-14.3	-21.7	-14.3	-27.3	-30.0	-23.3	11.1	-6.9	-12.9	-13.8	0.0	-14.3	-29.6	-3.2	-3.4	20.6	-21.4	-29.6		
採算	-47.4	-19.0	-34.8	-23.8	-36.4	-26.7	-16.7	18.5	0.0	-25.8	-3.4	-8.8	0.0	-25.9	-6.5	-3.4	11.8	-25.0	-37		
従業員数	-5.3	4.8	-4.3	19.0	18.2	0.0	0.0	14.8	13.8	9.7	13.8	26.5	25.0	7.4	12.9	10.3	17.6	10.7	11.1		
設備投資の動向	OA機器	2			1	1						3	2	1	2	1	3	1	3		
	機械設備	1	2	1		4	6		6	2		2	4	4		6	4	4	1	4	3
	車両運搬具	1		1	1	1		1		2	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
	建物					1	1	1	1	3	4	3	1			4		1	3	3	
	付帯施設	3		1			2														
	その他							1			1	0	3								

6 サービス業（業況 DI は悪化に転じ、先行き改善を模索）

景況感は 17.3 ポイント悪化してプラス 7.7 となるが、先行きは改善を期待す。
 経営上の課題は「利用者ニーズの変化」・「需要の停滞」や「人件費の増加」
 設備投資は業況の悪化から手控えが見られる。

業況判断 DI は、売上高 DI は悪化してマイナス 3.8 となる、採算 DI もマイナス 23.1 と、14.8 ポイント悪化は第 7 回調査と同率の最悪。資金繰り DI もマイナス 15.4 と 19.6 ポイント悪化。景況感は 17.3 ポイント悪化してプラス 7.7 となった。業種別順位で第 1 位から第 3 位になりました。

3 カ月後の業況見込み DI はプラス 7.7 と横這いも。来期売上額見込み DI はプラス 3.8。来期の採算見通し DI はプラス 0.0 と改善の見通しを示し、資金繰り DI もマイナス 7.7 の見通しを示し、すべての指標で改善を見込む

雇用状況を示す従業員数 DI は、14.1 ポイント改善したがプラス 19.2 と労働力の人手不足感が強い。来期に向けても不足の傾向が続いている。調査 6 業種中 1 位から 3 位。

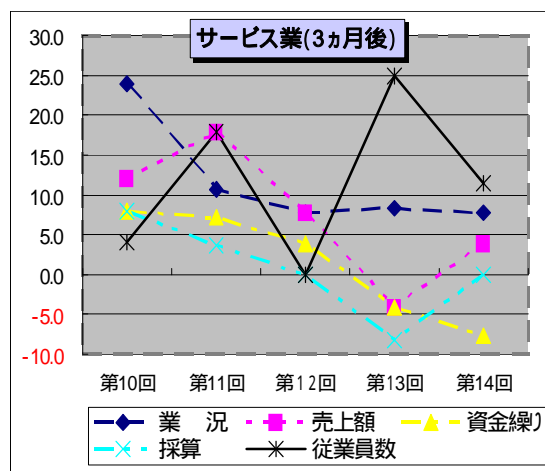
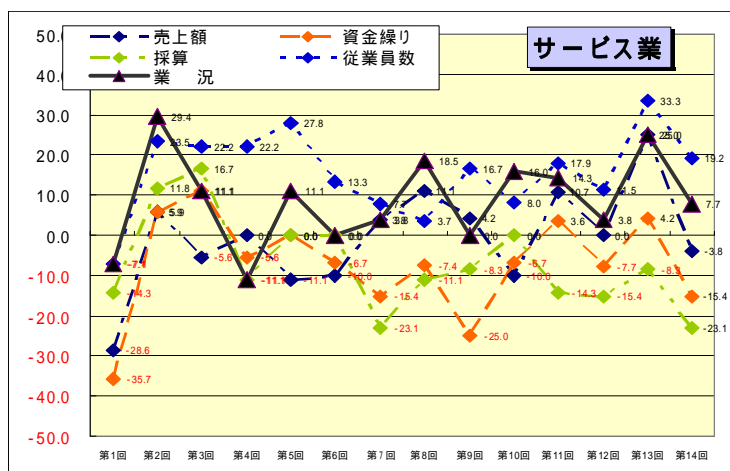
・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、調査 26 社のうち、OA 機器 15.4% (3 社)、車輛運搬具が 7.7% (2 社)、機械設備・その他(各 1 社)3.8% (各 1 社) の 7 件の投資しかなかった。来期の投資計画については、OA 機器 11.5% (3 社)、車輛運搬具が 7.7% (2 社) の投資計画が見られる。景気悪化によって手控えが続く

・ 経営上の問題点

経営上の問題点の、第 1 位、「利用者ニーズの変化」30.8% (8 社)、2 位は「需要の停滞」と「販売単価の低下・上昇難」26.9% (各 7 社)、4 位が「人件費以外の経費の増加」15.4% (4 社)、などが経営上の課題である。

前回調査に比べ「利用者ニーズの変化」は 5 社から 8 社に 3 社 (10.0%) 増加、「販売価格の低下・上昇難」は 2 社から 7 社に 18.6% (5 社) 増加「需要の停滞」も 4 社から 7 社に 10.2% (3 社) 増加した。ついで「人件費以外の経費の増加」が 6 社から 4 社に、9.6%、(2 社) 減少した。



サービス業	対前年比														3ヵ月後				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
業況	-7.1	29.4	11.1	-11.1	-11.1	0.0	3.8	18.5	0.0	16.0	14.3	3.8	25.0	7.7	24.0	10.7	7.7	8.3	7.7
売上額	-28.6	5.9	-5.6	0.0	-11.1	-10.0	3.8	11.1	4.2	-10.0	10.7	0.0	25.0	-3.8	12.0	17.9	7.7	-4.2	3.8
資金繰り	-35.7	5.9	11.1	-5.6	0.0	-6.7	-15.4	-7.4	-25.0	-6.7	3.6	-7.7	4.2	-15.4	8.0	7.1	3.8	-4.2	-7.7
採算	-14.3	11.8	16.7	-11.1	0.0	0.0	-23.1	-11.1	-8.3	0.0	-14.3	-15.4	-8.3	-23.1	8.0	3.6	0.0	-8.3	0.0
従業員数	-7.1	23.5	22.2	27.8	13.3	7.7	3.7	16.7	8.0	17.9	11.5	33.3	19.2	4.0	17.9	0.0	25.0	11.5	11.5
設備投資の動向																			
OA機器	2	1	2	3	3	2	4	2	1	3	3	0	4	3	2	5	2	2	3
機械設備				1	1	1	2		1	2	2	1	1	1		2			
車輛運搬具	1	1	1	2	1	1	2						2	2	2	1	2		
建物						2					2								
付帯施設		1	2	1										1					
その他																			

資料編

第14回：景気動向DI結果(平成19年10月調査)

景況調査結果		総合(単純)	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
業況	(今期)	4.1	25	23.1	-5	-12	3.7	7.7
	(3ヵ月後)	4.9	25	7.7	-15	12	0	7.7
今期経営状況	売上額	-4.1	16.7	-7.7	0	-16	-3.7	-3.8
	資金繰り	-15.4	0	7.7	-25	-12	-29.6	-15.4
	採算	-14.6	8.3	0	-20	-8	-25.9	-23.1
	従業員数	14.6	33.3	23.1	5	12	7.4	19.2
見通し3ヵ月後	売上額	1.6	8.3	-7.7	0	16	-11.1	3.8
	資金繰り	-7.3	8.3	15.4	-10	0	-29.6	-7.7
	採算	-10.6	0	0	-20	4	-37	0
	従業員数	10.6	33.3	15.4	0	4	11.1	11.5

第14回：設備投資結果(平成19年10月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
今期	OA機器	7		1	2		1	3
	機械設備	8			1		6	1
	車両運搬具	7	1	2	1		1	2
	建物(付帯設 付帯施設)	6	1	1			4	
	その他	1						1
3ヵ月後	OA機器	9	1		1	1	3	3
	機械設備	3					3	
	車両運搬具	4			3		1	
	建物(付帯設 付帯施設)	7	1	1	2		3	
	その他	1			1			

第14回：経営上の問題点(平成19年10月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
需要の停滞		44	4	6	9	13	11	7
利用者ニーズの変化		29			3	11	7	8
販売単価の低下・上昇難		24	1	6	7	6	4	7
人件費以外の経費の増加		23	3	7	4		4	
新規参入業者の増加		7				1	5	1
同業者の進出		8					5	3
人件費の増加		11	1	1	2	2	4	1
大型・中型店の進出による競争の激化		5		2		2		3
購買力の他地域への流出		7			2	3	2	
その他	良い人材の確保:1			請負単価の低下・上昇	仕入単価の上昇	経営者の高齢化	材料費の値上:2	人材の不足:1
	原材料の高騰:3			民間需要の停滞:4				取引条件の変更
				加工単価の低下:1	官公需要の停滞:2			
				取引条件の悪化:2	大企業の進出で競争激化:2			
				材料費の値上:3				

第13回：景気動向DI結果(平成19年7月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
業況	(今期)	10.5	8.3	0	0	11.5	17.9	25
	(3ヵ月後)	-7.8	0	-21.4	-5	0	-28.6	8.3
期経営状況	売上額	8.5	-8.3	0	5	11.5	17.9	25
	資金繰り	-5.7	-16.7	0	-15	7.7	-14.3	4.2
	採算	-12.5	-16.7	-28.6	-25	3.8	0	-8.3
	従業員数	16.7	33.3	7.1	5	-3.8	25	33.3
通し3ヵ月	売上額	-12.8	-16.7	-21.4	-10	3.8	-28.6	-4.2
	資金繰り	-13.2	-25	-21.4	-15	7.7	-21.4	-4.2
	採算	-20.6	-16.7	-50	-20	-3.8	-25	-8.3
	従業員数	7.5	16.7	-7.1	0	0	10.7	25

第13回：設備投資結果(平成19年7月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
今期	OA機器	13	2	2	3		2	4
	機械設備	10	1	1	3		4	1
	車両運搬具	9		4	1		2	2
	建物(付帯設 付帯施設)	3		1		2		
	その他	2				2		
3ヵ月後	OA機器	3				1		2
	機械設備	5			1		4	
	車両運搬具	3		2	1			
	建物(付帯設 付帯施設)	5		1	1		3	
	その他	1				1		

第13回：経営上の問題点(平成19年7月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
需要の停滞		42	5	8	7	9	9	4
利用者ニーズの変化		24	1		7	7	5	5
販売単価の低下・上昇難		14	4	8	2	5	5	2
人件費以外の経費の増加		30	5		4	2	7	6
新規参入業者の増加		7			1		4	2
同業者の進出		8					6	2
人件費の増加		16	1	2	1	2	5	5
大型・中型店の進出による競争の激化		5		1	2	1	1	1
購買力の他地域への流出		6			1	4	1	
その他	良い人材の確保：1		事業資金の借入難	請負単価の低下上昇難：8				人材の不足：1
			製品ニーズの変化	民間需要の停滞：5				
			加工単価の低下：4	官公需要の停滞：3				
			取引条件の悪化1	大企業の進出で競争激化1				